



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

失業率は史上最悪の水準

雇用状況が深刻さを増しています。全国的に失業率は史上最悪の水準で、このままでは昨年「年越し派遣村」の事態を上回らねない大変な状況です。

高萩ハローワーク管内（北茨城市・高萩市）における9月末現在の有効求人倍率は0・37倍（昨年同期0・83倍）です。同じく高校生の就職内定率は46・2%（昨年72・7%）で、近年では最悪の状況です。

この10月 制度改定

「生活福祉資金貸付制度」の 生活支援費の活用を

日本共産党市議団のもとにも「9月いっぱい失業給付が打ち切られた。ここ2ヶ月間、まったく収入がない。ハローワークに行っても就職のあてがなく、生きる気力も失せてしまう」など、雇用や生活保護の相談があいついでいます。

日本共産党は国会で、緊急に失業給付の「全国延長給付」をただちに実施して、失業者とその家族をホームレスにしないための本腰を入れた取り組みを求めています。

党市議団としては、この10月に改定された「生活福祉資金貸付制度」の生活支援費の活用を呼びかけてい

ます。

この制度は必要な資金を他から借り受けることが困難な世帯にたいして、2人世帯以上は月15万円以内、単身者は月10万円以内が一定期間借りられる制度です。保証人が付けられる場合は無利子、付けられない場合でも年1・5%の利子で融資が受けられます。そして返済は、就職が決まったら6ヶ月猶予期間を過ぎて

からです。

党市議団は「失業者にとって融資の保証人探しは至難の業であり、その点が改善されたことは朗報である。こうした制度があることを市としても広く市民に知らせることが大事である。失業や生活で困ったことがあつたら市議団に相談してほしい」と語っています。

さらに「生活福祉資金貸付制度」の中には、生活支援費のほか、緊急小口資金、教育支援費、就学支援費などがあります。この貸付制度の窓口は市社会福祉協議会、電話（42）0782。

「茨城空港」のムダと危険

基準ゆるめて
滑走路を建設

日本共産党では、地方議員の研修会を随時おこなっています。この11月11、12

日には、県内全域の議員が一同に会しての研修がおこなわれました。このなかで、



国内線の就航ゼロで“全国ご近所”の作戦失敗は誰の目にも明らかです。

新病院建設についての説明会



前号でもお知らせしたとおり、新しい市立病院建設についての説明会が市内3ヶ所で開かれています。写真は、11月11日、関南多目的集会所。200名を超える参加者が会場を埋めました。

茨城空港をめぐって、党市議団から「赤字・ムダづかい」とともに「危険」の側面も報告されました。

茨城空港は、来年の3月に開港を迎えますが、定期運行の予定は現在1便のみです。計画では、1日24便という需要予測でした。

同空港は自衛隊基地との供用であり、すでに現在、新滑走路を使って自衛隊機が通常訓練をおこなっています。これにともなって騒

音被害区域も広がっていますが、その軽減策はとられていません。

完成した新滑走路と現滑走路の間隔は、通常300mのところ、210mという全国にない狭さです。また、訓練空域と成田・羽田の進入管制区域が集中することに加え、近隣には原子力施設やコンビナートなど飛行制限空域も設定されており、危険と隣り合わせとなっています。